Dr.米谷&真崎のリレー講座

患話休題

かんわきゅうだい

10

院長
真崎 雅和

もうすぐ「鼻の日」です。

8月7日は何の日かご存じですか？日本耳鼻咽喉科学会では、8月7日を「鼻の日」と制定して鼻の病気に関する広報活動を行っています。「鼻の日」の歴史は意外に古く、昭和36年に制定されました。日本耳鼻咽喉科学会秋田県地方部会でも「鼻の日」の活動の一環として、8月1日(日)午後1時30分～3時に秋田市のアルヴェ2階において公開講座を開催します。内容は、「鼻の構造とはたらき」、「副鼻腔炎について」、「アレルギー性鼻炎について」、「アレルギー性鼻炎の対する免疫療法について」です。今回は「鼻の日」にちなんで、鼻のお話をしたいと思います。

私たちの鼻は一体どんな役割を果たしているのでしょう？

まず思い浮かぶのは嗅覚ですね。鼻の中の天井にあたるところに臭いを感じる部分があります。鼻がつまって、この部分まで臭いが届かないと臭いが分からなくなり、味覚まで障害されて、食事もおいしく食べられなくなります。

次に呼吸です。鼻は呼吸の時に、空気に適度な加湿、加温を行い、ホコリ等を取り除くフィルターとなって まさに加湿・空気清浄機能付きエアコンの役割を果たしています。もし、これらの機能が障害されると、冷たく乾燥し、汚れた空気が直接のどや気管、肺まで到達して、のどや肺の病気にもかかりやすくなります。また、鼻の通りが悪いと、口呼吸やいびきをかくようになり、睡眠時無呼吸症候群の原因になっていることもあります。

鼻の機能を障害する病気には、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎(蓄膿症)、嗅覚障害、鼻中隔弯曲症などがあります。このうち、副鼻腔炎は軽症化の傾向にあり治りやすくなってきましたが、まだまだ多くみられる病気です。特に子供さんでは中耳炎の原因にもなります。花粉やハウスダスト、ダニなどによって起こるアレルギー性鼻炎は、低年齢化が進み、今後も増加する傾向にあります。

鼻みず、鼻づまり、嗅覚低下以外に、風邪をひくと鼻が治りにくい、のどの痛みを繰り返す、鼻血が出やすいなどの症状がある場合は、一度鼻の病気をチェックしてみてはいかがでしょうか。

急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 2:30～5:30	○	○	○	休診	○	△ 2:30～4:00	

真崎耳鼻咽喉科医院
TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321
秋田市土崎港中央6-8-3